

2021年11月6日(土) — 19日(金) 9:00-16:30【14日間】 *入園は16:00まで

松戸アートピクニック

Matsudo Art Picnic at Matsudo 21st Century Park

企画団体 大成哲雄 + 聖徳大学大成ゼミ / 千葉大学園芸学部柳井重人研究室 / 千葉大学園芸学部 章俊華・武田史朗研究室 / 武蔵野美術大学建築学科土屋・田原コース
総合監修 土屋公雄 (愛知県立芸術大学名誉教授) 主催 松戸アートピクニック実行委員会 (共催 松戸市・松戸市教育委員会) 後援 千葉大学園芸学部・聖徳大学

大学生×市民——感性を育む自然の学び舎で「観察・創作・交流」を实践。

t h e

介^{かい}しの森^{もり}で

f o r e s t

会場=千葉県松戸市「21世紀の森と広場」 「親緑の丘」「つどいの広場」「みどりの里」
住所=千葉県松戸市千駄堀269

入場無料

松戸アートピクニック 2021

介しの森で/in the intermediary forest

会期：2021年11月6日(土)～19日(金)14日間
 時間：9:00～16:30(最終入園は16:00まで)
 会場：千葉県松戸市「21世紀の森と広場」
 「親緑の丘」「つどいの広場」「みどりの里」
 入場無料

企画団体：

大成哲雄+聖徳大学大成ゼミ
 千葉大学園芸学部柳井重人研究室
 千葉大学園芸学部 章俊華・武田史朗研究室
 武蔵野美術大学建築学科土屋・田原コース

松戸アートピクニックは、2017年より、松戸市の中央に位置する公園「21世紀の森と広場」が有する豊かな自然環境を舞台に、現代アートをきっかけに多様な文化的価値を創造する芸術祭として開催が始まりました。

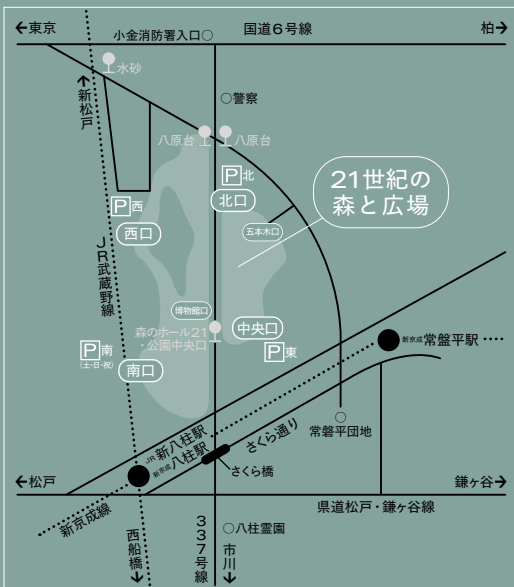
今回は「生命の仲介的な場所である森に対して、皆で会し(集まり)、皆で理解を深める」ことをテーマとし、これまで本公園において活動をおこなってきた複数の大学の研究室が、それぞれのカリキュラムを展開する形で、「観察・創作・交流」を通じたプログラムをおこないます。

本公園の変化に富んだ自然に対して、各研究室が見出すオリジナルで多様な知見を、来園者のみなさまと共有することで、豊かな感性を育む自然学習の場となることを期待しています。

ぜひピクニックを楽しむつもりで気軽に足をお運びいただき、いつもとはほんの少し違う角度から、この魅力ある自然をお楽しみください。

21世紀の森と広場とは「千駄堀の自然を守り育てる」ことをコンセプトに掲げ、多様化する市民生活や文化活動に対応した都市公園として1993年に開園しました。千駄堀地区の自然は数百年以上に亘り、人の暮らしと密接な関わりをもつ森と周辺環境を取り込んだ「里山」として、数十年周期で更新しながら循環してきました。この「里山」を後世に引き継いでいくためには、人と自然のつながりをあらためて認識することが重要であり、この芸術祭をきっかけに本公園の自然の魅力を感じていただき、人と自然が結びつき共生できる未来を目指します。

会場周辺の地図



大成哲雄+聖徳大学大成ゼミ、「グローバルピクニック」、2017年

各イベントのお申し込み先：

「松戸アートピクニック」事務局
 (21世紀の森と広場管理事務所内)
 ☎047-345-8900 午前9:00～午後17:00

各イベントの最新情報はWebサイトをご覧ください。
<https://matsudo-ap.jp>

① ワークショップ・作品展示

森を解す 11/6 先着順 20名

【日時】11月6日(土)10時30分～14時30分 ※昼食休憩含む ※雨天の場合、翌日開催 / 【会場】21世紀の森と広場「親緑の丘」

【対象】小学3年生以上中学生以下先着20人 ※要事前申込み ※小学生は保護者の同伴が必要 / 【費用】無料

市内小中学生が「子どもアーティスト」となり、4つの企画団体の大学生と一緒に、森から発生した伐採材を用いて、「森の気配」を醸し出す生き物のような立体作品をいくつも制作します。完成した作品群は森の木立に配置され、この森にいつもとは少し異なる気配を創出することで、森が抱える豊かな生命に対して改めて理解を深めようと思えます。 ※千葉大学園芸学部「伐採材の活用への取り組み」、聖徳大学大成ゼミ「子供たちとのアクティビティによる取り組み」、武蔵野美術大学建築学科土屋・田原コース「空間的造形への取り組み」。これらを混合した共同企画。

② 座談会

森で会す 11/13 先着順 40名

【日時】11月13日(土)13時～15時 ※後日、動画のアーカイブ配信を予定

【会場】21世紀の森と広場「親緑の丘」 ※雨天の場合「パークシアター」

【対象】どなたでも先着40人 ※当日会場で受付。 ※小学生は保護者の同伴が必要 / 【費用】無料

「森という生命の仲介的な存在の場所に、皆で集まり、皆で理解を深める」をテーマに、本公園内の親緑の丘にて、森の座談会を開催します。

前半は、4つの企画団体の大学生と、3名のゲストの方々から、「森」にまつわるそれぞれの活動紹介をしてもらいます。そして、後半のフリートークでは、会場にお越しの皆様とともに、本公園が有する豊かな自然環境の未来像を探っていくことを目指します。

都内から松戸・八柱へのアクセス



上野	常磐線	松戸	新成線	八柱	約30分
東京	上野東京ライン	松戸	新成線	八柱	約40分
新宿	中央総武線	西船橋	武蔵野線	新八柱	約60分

会場：「21世紀の森と広場」
 「親緑の丘」「つどいの広場」「みどりの里」
 千葉県松戸市千駄堀269

広さが東京ドーム11個分、50.5ヘクタールもある大きな公園です。緑豊かな園内は山、林、池、田園など様々な自然にふれあうことができる環境です。

③ 各研究室の試み

●3-1 ワークショップ

【企画運営】大成哲雄+聖徳大学大成ゼミ

グローバルピクニック2

【日時】開催期間中の土日 各10時～15時 ※雨天中止

【会場】21世紀の森と広場「つどいの広場」

【対象】幼児から大人先着各日30人 ※当日会場で受付。 ※小学生以下は保護者の同伴が必要 / 【費用】無料

親子向けにフラッグを作るワークショップを行います。松戸市の航空写真をプリントしたレジャーシート、大きな竹ブランコの周辺で行われるワークショップを通して独自の考え方である「グローバル」を体感する場をつくります。

●3-2 ガイドツアー&ワークショップ

【企画運営】千葉大学園芸学部柳井重人研究室

循環の森

【対象】どなたでもご参加いただけます。 ※当日会場で受付。 ※日のみ各回先着20名 ※小学生以下は保護者の同伴が必要 / 【費用】無料

A 展示：「森の循環のしくみイラストパネル」—— 森の移り変わり(2次遷移)と活用の全体の仕組みをイラストにあらわして展示します。
 【日時】開催期間中鑑賞可能
 【会場】21世紀の森と広場「みどりの里」

B ガイドツアー：「循環の森ガイドツアー」—— 循環のしくみイラストに表した、公園内の資源の循環スポットをガイドツアーで案内し、森の循環に触れ、体験して学ぶ。
 【日時】開催期間中の日曜 午前・午後各1回
 【会場】21世紀の森と広場「みどりの里」が国内各所

C ワークショップ・デモンストレーション：
「モリクルもりいくステーション」—— 森の材料を使った遊び・クラフト体験・剪定枝伐採木等の配布。
 【日時】開催期間中の日曜 11時～15時
 【会場】21世紀の森と広場「みどりの里」

●3-3 作品展示

【企画運営】千葉大学園芸学部 章俊華・武田史朗研究室

顕れる森

【日時】開催期間中鑑賞可能 / 【会場】21世紀の森と広場「つどいの広場」
 “顕れる森”は管理作業とそれによる森林、環境の変化を風景として映し出すアート作品です。siteAで大きな枝の置かれている場の力強さを、siteBでは管理作業による空間の変化を見せることで、人々を森の中へ誘います。

●3-4 空間構成

【企画運営】武蔵野美術大学建築学科土屋・田原コース

気配の連鎖 — 介しの森で

【日時】開催期間中鑑賞可能 / 【会場】21世紀の森と広場「親緑の丘」
 「ワークショップ+作品展示」と「座談会」の会場となる「親緑の丘」を舞台に、既存の木道橋を拡張するように空間を構成。

○電車・バスでお越しの場合

- ①新成電鉄八柱駅 / JR武蔵野線新八柱駅から徒歩15分
- ②新成電鉄八柱駅南口から新成バス小金原団地循環または新松戸駅行きに乗車、「森のホール21・公園中央口」下車(開園時間を中心に10分から20分ごとにバスが運行しています)
- ③JR常磐線馬橋駅入口から新成バス常盤平駅北口行きに乗車、「水砂」下車(西口)または「八原台」下車(北口)
- ④JR常磐線・武蔵野線新松戸駅から新成バス八柱駅行きに乗車、「八原台」下車(北口)または「森のホール21・公園中央口」下車

○お車で越しの場合

- 駐車場が4ヶ所ございます(計847台、1日500円)。
- ※南駐車場は土日祝のみ利用できます(平日利用不可)。
- ※観光バスなど大型バスで来園の場合は駐車場の予約が必要です。
- お問い合わせは駐車場事務所へ ☎047-385-7171

○お問い合わせ先

「松戸アートピクニック」事務局
 (21世紀の森と広場管理事務所内)
 ☎047-345-8900
 (午前9:00～午後17:00)

<https://matsudo-ap.jp>

📱📷📺 @matsudoap